

平成24年度熊本県公立学校 心のアンケート～楽しい学校生活をおくるために～の結果の概要

義務教育課・高校教育課・特別支援教育課

1 目的

県内の公立小中学校（熊本市を除く）、高等学校、特別支援学校の児童生徒を対象にして、無記名のアンケート調査を実施することにより、各学校が児童生徒の思いに寄り添い、いじめの実態を把握するとともに、迅速・適切な対応を行い、いじめのない、すべての児童生徒が安心して、楽しく学校生活を過ごせる学校づくりに取り組むための資料とする。

また、認知された事例をもとに各学校、市町村教育委員会及び県教育委員会におけるいじめの未然防止、根絶に向けた具体的な対応策を検討・実施する資料とする。

2 集計結果 別紙参照

3 調査結果の概要

(1) 今の気持ちについての質問（今回新たに加えた項目）

- 「学校が楽しい」と回答した児童生徒は、小学校が92.8%、中学校が89.1%、高校が88.1%、特別支援学校が94.2%である。
- 「みんなで何かいっしょにするのは楽しい」と回答した児童生徒は、小学校が95.7%、中学校が93.3%、高校が97.0%、特別支援学校が96.7%である。
- 「授業がよくわかる」と回答した児童生徒は、小学校が90.5%、中学校が77.1%、高校が77.3%である。
- 「スポーツや音楽、趣味など、自慢できるものがある」と回答した児童生徒は、小学校が77.9%に対し中学校74.1%であり、学年が上がるにつれて低下している。

(2) 日常生活についての質問

- 「今の学年になっていじめられたことがある」と回答した児童生徒は、小学校が16.1%、中学校が5.6%、高校が1.6%、特別支援学校が5.2%であり、すべての校種において平成23年度に比べて増加している。依然として多くの児童生徒が「いじめられた」と感じている。

さらに、「いじめられた」と回答した児童生徒の学年別割合をみると、小学校、中学校、高校ともに1年生が最も高く、学年が上がるにつれて減少していくが、中学校1年は9.2%であり、小学校6年の7.6%より割合が高くなっている。

- いじめられた相手としては、すべての校種において「同級生（クラスの人）」が多く、次いで小学校と特別支援学校では「上級生」、中学校、高校では「部活動を一緒にしている生徒」となっている。
- どんないじめを受けたかは、すべての校種において「冷やかしの、からかい」が多く、次いで「仲間はずれにする」「いいがかり（文句を言われる）おどされたりする」となっている。

また、ネットの掲示板書き込みによるいじめが中学校では4.1%、高校では9.8%であり、平成23年度に比べ増加している。

- 「今もいじめは続いている」と回答した児童生徒は、いじめられた児童生徒のうち小学校が24.0%、中学校が25.0%、高校が26.9%、特別支援学校が29.4%で、すべての校種において20%を超えているが、平成23年度、平成22年度に比べ減少している。なお、「今もいじめが続いている」と回答した児童生徒は、2,827人だったが、その後の取組により、小学校で99.9%、中学校で99.5%、高校で89.3%、特別支援学校で100%解消している。
- 「いじめられたことをだれかに話したか」については、「話をした」と回答した児童生徒は全体の72.1%で平成23年度よりも増加しているが、4人に1人は今だ相談していない状況にある。
- いじめを受けたときに相談した相手としては、小学校では「家族」「担任」「友だち・先輩」、中学校では「担任」「家族」「友だち・先輩」、高校では「友だち・先輩」「担任」「家族」、特別支援学校では「担任」「家族」「担任以外の先生」の順となっている。子どもにとって身近な人が相談相手となっている。
- 「だれかにいやなことを言ったり、したりしたことがある」（今回新たに加えた項目）と回答した児童生徒は、小学校が33.6%、中学校が31.3%、高校が11.1%、特別支援学校が11.3%である。全体で2割を超える児童生徒が、だれかにいやな思いをさせたことがあると自覚している。
- 「いじめを見たり、聞いたりしたことがある」と回答した児童生徒は、小学校が13.2%、中学校が10.1%、高校が2.9%、特別支援学校が5.4%である。
- 「いじめを見たり、聞いたりしたときどうしたか」については、すべての校種において「いじめられている人の話を聞いたり、声をかけたり、励ましたりした」が多く、小学校、特別支援学校では「いじている人に注意したり、やめさせたりした」中学校、高校では「黙ってみていた」が多くなっている。
- 「つらいことがあったり、困ったことがあったりした時に、1人で悩まず、他の人に話をしやすくするためにはどうすればよいか」（今回新たに加えた項目）に対しては、「話す勇気があるとよい」「気づいて声をかけてほしい」が多くなっている。
- 携帯電話等の所持率は、小学校が25.7%、中学校が42.3%、高校が95.4%、特別支援学校が38.4%であり、平成23年度に比べて増加している。
- 「携帯電話等に関するきまりごとがあるか」（今回新たに加えた項目）について「ない」と回答した児童生徒は、小学校が41.8%、中学校が46.9%で、高校が64.3%、特別支援学校が46.1%である。半数前後の児童生徒がきまりごと（ルール）がないまま携帯電話等を利用している。
- 「きまりごと（ルール）はどのようなものか」（今回新たに加えた項目）については、すべての校種において、「フィルターをかけ、有害なサイトに接続できないようにしている」が最も多い。次いで、小、中学校、特別支援学校では「使用する時間数や時間帯の制限」、高校では「1か月の使用料金の上限を決めている」が多くなっている。
- 高校において、携帯電話等でよく使用する機能については、「メール」が78.2%と多く、次いで「電話」が57.6%である。また、今回新たに加えた選択肢の「LINE（ライン）」の使用も多く、55.3%である。
- 「今の学年になってインターネット上の掲示板に書き込みをしたことがある」と回答

した児童生徒は、小学校が3.1%、中学校が6.1%、高校が4.4%、特別支援学校が2.6%である。

- 「アンケートに答えるのに書きやすいのはどちらか」に対しては、すべての校種において「学校」の方が書きやすいと回答している。

4 今後の取組

(1) いじめ解消の取組について

- 「心のアンケート」等により把握したいじめについては、「いじめられている児童生徒は必ず守り通す」という強い姿勢で、すべての事案が解消するよういじめる児童生徒に対して、毅然とした態度で粘り強く指導を行う。また、解消と判断した事例についても、継続して十分な注意を払って行動観察等を行う。
- いじめの解消に向けた取組については、学級担任等の特定の教員で抱え込むことなく、学校全体で組織的に対応するとともに、学校のみで解決することに固執せず、保護者、教育委員会、関係機関等と適切な連携を図る。

(2) いじめの未然防止と早期発見・早期対応について

- 各学校においては、「心のアンケート」の結果を分析し、教職員の共通理解を図り、課題解決に向けて取り組む。
- 「いじめ対応の手引き」等の活用を図りながら、教職員のいじめについての認識を深める取組を推進する。
- 定期的なアンケート実施はもとより、児童生徒の関係や個々の思いに気付くことができるよう、個人面談、生活ノートや連絡帳等の活用を図る。
- 学校が、「いじめ対策検討委員会」等を定期的開催し、情報の共有化を図りながら、いじめの未然防止や早期発見、早期対応に努める。

(3) いじめを許さない集団づくりについて

- 道徳や特別活動等を通して、学校総体として、いじめをしない児童生徒を育むとともに、児童生徒が自分自身で、人生に自信を持って生きる自尊感情や自己有用感を育む。
- 児童会や生徒会活動を通じて、児童生徒一人一人が学校全体でいじめを許さないという明確な行動が取れるような取組を実施する。

(4) 教職員と児童生徒の信頼関係づくり、児童生徒同士の間関係づくりについて

- 「子どもの居場所づくり推進テーブル」に示された4つの視点（「児童生徒同士のつながり」、「教職員と児童生徒のつながり」、「組織体としての教職員同士のつながり」、「学校と家庭、地域・関係機関とのつながり」）で、生徒指導体制及び取組について点検を行い、心の居場所となる魅力ある学校づくりを進めていく。
- 教職員と児童生徒との良好な関係を築くために、教職員が普段から自らの感性や対人関係向上のスキル等の改善に努力するとともに、有効な研修の充実を図る。
- 教職員が、子どもとのより強い信頼関係を築くために、指導方法を工夫し、わかる授業を実践するとともに、子どもとの遊びや触れ合いの時間を確保する。

(5) 相談体制の充実について

- 相談室を設置したり、教育相談を定期的開催したりするなど、いつでも気軽に相談できる体制をつくる。

- 「熊本県子どもいじめ相談窓口」等の相談機関について、児童生徒への更なる周知を図る。
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、学校支援アドバイザー等の積極的な活用を図る。

(6) 学校間、家庭、地域との連携について

- 幼・保等、小、中、高、特別支援学校の定期的な連絡会、合同研修会、情報交換会等を実施して指導者の連携を図るとともに、日常的な子ども同士の交流活動を行い、仲間づくりを円滑にできるように工夫する。
- 熊本版コミュニティ・スクール等を活用して、いじめ問題について情報交換を行ったり、PTA総会や学年懇談会等において、いじめが起こったときの心構えや対処法等を話し合ったりするなど、学校、家庭、地域等が連携し、いじめ問題に取り組む体制づくりを行う。
- 家庭においては、「くまもと家庭教育10か条」などを活用し、子どもの基本的生活習慣や善悪の判断などの基本的なルールやマナーを育むとともに、「親の学びプログラム」等を活用し、地域の保護者同士のつながりをつくり、学校との連携を深める。
- 6月の「心のきずなを深める月間」の取組として、学校・家庭・地域が連携し、児童生徒同士はもちろんのこと、児童生徒と教職員や地域住民との「心のきずな」を深め、地域ぐるみでいじめ許さない学校、学級づくりに向けて取り組む気運を高める。

(7) ネット掲示板や携帯電話等への対応について

- 学校、家庭、地域、関係機関が協力して携帯電話の正しい利用や情報モラル等の指導を徹底する。また、モデル授業開発や教材作成等を通して、教職員の指導を支援する。
- PTA総会や学級懇談会等の機会を利用し、保護者に対して、携帯電話等の利用について学校と家庭との連携や家庭でのルールづくりの必要性、フィルタリングソフトの有効性等について啓発を図る。

平成24年度熊本県公立学校 心のアンケート集計結果

- 1 実施期間 平成24年12月～平成25年1月
- 2 実施対象 県内公立小中学校(熊本市を除く)、高等学校及び特別支援学校の児童生徒
- 3 実施状況

	小学校			中学校			高等学校		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計
児童生徒数	29,825	28,020	57,845	15,597	14,657	30,254	17,811	16,215	34,026
実施者数	29,765	27,985	57,750	15,514	14,571	30,085	17,590	16,005	33,595
未実施者数	60	35	95	83	86	169	221	210	431
実施率	99.8%	99.9%	99.8%	99.5%	99.4%	99.4%	98.8%	98.7%	98.7%
	特別支援学校			合計					
	男子	女子	合計	男子	女子	合計			
児童生徒数	930	537	1,467	64,163	59,429	123,592			
実施者数	835	475	1,310	63,704	59,036	122,740			
未実施者数	95	62	157	459	393	852			
実施率	89.8%	88.5%	89.3%	99.3%	99.3%	99.3%			

- 4 各項目の集計結果
- (1) 今の気持ちについての質問 ※今回新たに加えた項目

①学校が楽しい。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
ア よくあてはまる	33,872	58.7%	13,464	44.8%	14,569	43.4%	958	73.1%
イ まああてはまる	19,710	34.1%	13,320	44.3%	15,003	44.7%	276	21.1%
ウ あまりあてはまらない	3,407	5.9%	2,534	8.4%	2,903	8.6%	48	3.7%
エ まったくあてはまらない	761	1.3%	767	2.5%	1,109	3.3%	28	2.1%

②みんなで何かいっしょにするのは楽しい。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
ア よくあてはまる	41,340	71.6%	16,999	56.5%	23,028	68.5%	995	75.9%
イ まああてはまる	13,943	24.1%	11,086	36.8%	9,582	28.5%	271	20.7%
ウ あまりあてはまらない	2,040	3.5%	1,612	5.4%	779	2.3%	33	2.5%
エ まったくあてはまらない	427	0.7%	388	1.3%	239	0.7%	11	0.8%

③授業がよくわかる。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
ア よくあてはまる	23,478	40.7%	4,051	13.5%	4,767	14.2%		
イ まああてはまる	28,762	49.8%	19,129	63.6%	21,194	63.1%		
ウ あまりあてはまらない	4,932	8.5%	5,943	19.8%	6,340	18.9%		
エ まったくあてはまらない	578	1.0%	962	3.2%	1,369	4.1%		

④スポーツや音楽、趣味など自慢できるものがある。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
ア よくあてはまる	25,764	44.6%	9,164	30.5%				
イ まああてはまる	19,247	33.3%	13,129	43.6%				
ウ あまりあてはまらない	8,286	14.3%	6,234	20.7%				
エ まったくあてはまらない	4,453	7.7%	1,558	5.2%				

- (2) 今の学年でいじめられたことがありますか。

校種		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
		ある(人)	ある(%)	ある(人)	ある(%)	ある(人)	ある(%)
小学校	男	5,003	16.8%	8,165	16.0%	7,204	13.9%
	女	4,321	15.4%	6,613	13.7%	6,056	12.3%
	計	9,324	16.1%	14,778	14.9%	13,260	13.1%
中学校	男	865	5.6%	1,462	5.5%	1,311	4.9%
	女	833	5.7%	1,170	4.8%	1,174	4.7%
	計	1,698	5.6%	2,632	5.2%	2,485	4.8%
高等学校	男	286	1.6%	257	1.4%	327	1.8%
	女	267	1.7%	199	1.2%	261	1.5%
	計	553	1.6%	456	1.3%	588	1.7%
特別支援学校	男	47	5.6%	29	3.9%	29	4.1%
	女	21	4.4%	22	5.0%	11	2.6%
	計	68	5.2%	51	4.3%	40	3.6%

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合	学部	回答者数	割合
1年	1979	21.5%	904	9.2%	254	2.3%	小学部	10	3.8%
2年	1936	20.6%	498	5.0%	170	1.6%	中学部	15	5.5%
3年	1996	21.0%	296	2.9%	129	1.1%	高等部	43	5.6%
4年	1495	15.4%							
5年	1152	11.6%							
6年	766	7.6%							

(3) だれからいじめられましたか。(複数回答可) ※部活動と一緒にしている人は小学3年生以上が回答

	平成24年度				平成23年度				平成22年度			
	小学校	中学校	高等学校	特別支援	小学校	中学校	高等学校	特別支援	小学校	中学校	高等学校	特別支援
クラスの人			65.8%				66.9%					
同級生	75.6%	86.7%	24.8%	57.4%	75.7%	87.2%	22.8%	54.9%	76.6%	88.7%	81.8%	62.5%
上級生	27.7%	9.0%	5.6%	32.4%	24.5%	9.1%	8.8%	15.7%	25.7%	10.2%	8.0%	25.0%
部活動と一緒にしている	10.7%	15.5%	13.6%	0.0%	8.9%	14.4%	10.7%	7.8%	9.6%	15.6%	11.9%	5.0%
先生	0.6%	1.6%	4.0%	1.5%	0.4%	0.8%	7.0%	2.0%	0.4%	1.6%	6.8%	5.0%
地域の人	3.9%	0.2%	1.4%	5.9%	3.6%	0.2%	1.3%	2.0%	3.6%	1.0%	1.2%	0.0%
他校の児童生徒	6.3%	1.8%	1.1%	7.4%	5.7%	1.7%	2.9%	11.8%	5.9%	1.6%	2.2%	5.0%
その他の人	4.2%	1.6%	5.1%	10.3%	3.6%	1.6%	4.2%	11.8%	3.9%	2.1%	3.6%	15.0%

(4) どんないじめを受けましたか。(複数回答可)

	平成24年度				平成23年度				平成22年度			
	小学校	中学校	高等学校	特別支援	小学校	中学校	高等学校	特別支援	小学校	中学校	高等学校	特別支援
いいがかり、おどされる	26.1%	19.3%	24.8%	29.4%	27.5%	19.9%	25.4%	17.6%	28.7%	18.3%	28.6%	22.5%
冷やかす、からかい	32.7%	49.8%	44.8%	30.9%	33.6%	52.0%	45.6%	39.2%	34.8%	52.7%	44.4%	30.0%
物をかくす、汚す	18.0%	16.3%	13.6%	10.3%	16.7%	17.9%	15.4%	9.8%	18.6%	16.2%	16.7%	7.5%
仲間はずれにする	28.1%	26.3%	26.6%	14.7%	27.7%	25.6%	23.2%	13.7%	29.6%	26.5%	27.7%	10.0%
無視する	12.5%	15.1%	14.8%	7.4%	11.4%	16.5%	14.2%	5.9%	12.5%	17.9%	11.2%	0.0%
殴る、ける	23.9%	16.2%	13.6%	25.0%	24.6%	17.9%	13.4%	19.6%	26.0%	17.0%	16.0%	17.5%
お金や物をとる	4.7%	3.3%	6.7%	1.5%	4.3%	3.3%	6.8%	0.0%	5.2%	4.2%	7.7%	2.5%
笑われることを無理にさせる	8.1%	6.1%	7.1%	1.5%	8.0%	5.4%	10.3%	9.8%	8.8%	5.6%	9.2%	5.0%
用事を言いつける	5.5%	4.1%	5.4%	7.4%	5.8%	4.6%	7.7%	9.8%	6.3%	5.4%	6.7%	5.0%
ネット掲示板に書き込む	0.5%	4.1%	9.8%	2.9%	0.4%	2.3%	9.6%	3.9%	0.4%	2.4%	8.5%	0.0%
その他	11.1%	11.1%	9.0%	14.7%	10.2%	10.8%	12.3%	23.5%	11.3%	11.1%	9.0%	15.0%

(5) 今もいじめは、続いていますか。

状況	校種	平成24年度		平成23年度		平成22年度	
		児童生徒数	割合	児童生徒数	割合	児童生徒数	割合
続いている	小学校	2,234	24.0%	3,677	24.9%	3,936	29.7%
	中学校	424	25.0%	854	32.4%	926	37.3%
	高等学校	162	29.3%	171	37.5%	213	36.2%
	特別支援	20	29.4%	21	41.2%	19	47.5%
	合計	2,840	24.4%	4,723	26.4%	5,094	31.1%
続いていない	小学校	7,090	76.0%	11,101	75.1%	9,324	70.3%
	中学校	1,274	75.0%	1,778	67.6%	1,559	62.7%
	高等学校	389	70.3%	285	62.5%	375	63.8%
	特別支援	48	70.6%	25	49.0%	21	52.5%
	合計	8,801	75.6%	13,189	73.6%	11,279	68.9%

(6) いじめられたことをだれかに話をしましたか。

状況	校種	平成24年度		平成23年度		平成22年度	
		児童生徒数	割合	児童生徒数	割合	児童生徒数	割合
話をした	小学校	6,668	71.5%	10,046	68.0%	9,411	71.0%
	中学校	1,267	74.6%	1,779	67.6%	1,640	66.0%
	高等学校	412	74.5%	96	54.9%	306	52.0%
	特別支援	52	76.5%	19	37.3%	22	55.0%
	合計	8,399	72.1%	11,940	67.7%	11,379	69.5%
話をしていない	小学校	2,656	28.5%	4,732	32.0%	3,849	29.0%
	中学校	431	25.4%	853	32.4%	845	34.0%
	高等学校	141	25.5%	79	45.1%	282	48.0%
	特別支援	16	23.5%	25	54.3%	18	45.0%
	合計	3,244	27.9%	5,689	32.3%	4,994	30.5%

(7) いじめを受けた人は、だれに話をしましたか。 ※問(6)で「話をした」と回答した人が回答

	平成24年度				平成23年度				平成22年度			
	小学校	中学校	高等学校	特別支援	小学校	中学校	高等学校	特別支援	小学校	中学校	高等学校	特別支援
担任の先生	46.3%	57.8%	47.6%	44.1%	51.6%	60.5%	62.5%	63.2%	44.8%	60.2%	51.3%	92.3%
養護の先生					3.2%	10.3%			3.6%	12.9%		
それ以外の先生	6.9%	17.8%	31.1%	17.6%	2.6%	10.3%	24.0%	21.1%	3.7%	10.7%	30.1%	38.5%
校長先生・教頭先生					1.6%	1.2%	3.1%	0.0%	2.3%	2.3%	2.7%	0.0%
スクールカウンセラー・相談員	1.0%	7.8%	7.5%		1.7%	8.4%	22.9%	0.0%	1.8%	7.6%	8.0%	0.0%
友だち・先輩	33.5%	45.7%	58.3%	11.8%	30.8%	43.6%	71.9%	21.1%	33.1%	50.1%	60.2%	15.4%
家族	60.7%	47.1%	46.6%	42.6%	63.3%	55.3%	57.3%	15.8%	62.1%	54.6%	50.4%	53.8%
近所の人	3.1%	0.9%	1.2%	0.0%	1.2%	0.9%	3.1%	0.0%	2.7%	1.5%	5.3%	0.0%
その他	2.3%	1.0%	3.9%	8.8%	1.8%	2.1%	4.1%	10.5%	2.7%	2.1%	0.0%	0.0%

(8) だれかにいやなことを言ったり、したりしたことがありますか。 ※今回新たに加えた項目

	校種	平成24年度	
		児童生徒数	割合
ある	小学校	19,432	33.6%
	中学校	9,407	31.3%
	高等学校	3,731	11.1%
	特別支援	141	11.3%
	合計	32,711	26.7%
ない	小学校	38,318	66.4%
	中学校	20,678	68.7%
	高等学校	29,773	88.9%
	特別支援	1,107	88.7%
	合計	89,876	73.3%

(9) いじめを見たり聞いたりしたことがありますか。

	校種	平成24年度		平成23年度		平成22年度	
		児童生徒数	割合	児童生徒数	割合	児童生徒数	割合
はい	小学校	7,635	13.2%	13,222	13.3%	26,443	26.2%
	中学校	3,050	10.1%	5,019	9.8%	11,080	21.6%
	高等学校	964	2.9%	1,749	5.1%		
	特別支援	65	5.4%	61	6.7%		
	合計	11,714	9.5%	18,241	12.1%	37,523	24.6%
いいえ	小学校	50,115	86.8%	86,258	86.7%	74,618	73.8%
	中学校	27,035	89.9%	45,981	90.2%	40,233	78.4%
	高等学校	32,525	96.8%	32,556	94.9%		
	特別支援	1,133	86.5%	854	93.3%		
	合計	110,808	90.3%	132,239	87.9%	114,851	75.4%

(10) いじめを見たり、聞いたりしたとき、どうしましたか。(複数回答可) ※問(9)で「ある」と回答した人が回答

	平成24年度				平成23年度				平成22年度			
	小学校	中学校	高等学校	特別支援	小学校	中学校	高等学校	特別支援	小学校	中学校	高等学校	特別支援
いじめられている人の話を聞いた	48.9%	37.3%	32.6%	32.3%	28.8%	25.5%			30.5%	24.2%		
注意してやめさせた	45.7%	18.1%	10.6%	27.7%	40.0%	18.4%			43.2%	19.1%		
先生に相談した	27.4%	11.0%	8.4%	20.0%	23.2%	10.4%			21.4%	9.4%		
友だちや先輩に相談した	22.0%	22.2%	21.4%	15.4%	19.0%	20.0%			16.9%	21.9%		
自分の親に話した	26.3%	23.8%	14.3%	10.8%	21.5%	20.6%			20.0%	19.9%		
いじめられている人の親に話した	4.0%	0.9%	0.8%	1.5%	3.8%	1.5%			3.7%	1.0%		
近所の人に話した	1.8%	0.8%	0.3%	0.0%	1.7%	0.6%			2.4%	1.8%		
黙って見ていた	22.9%	31.4%	23.3%	23.1%	27.7%	39.7%			23.6%	40.6%		
その場を通り過ぎた	11.3%	18.3%	11.4%	13.8%	11.7%	21.0%			13.5%	23.9%		

(11) つらいことがあったり、困ったことがあったりした時に、1人で悩まず、他の人に話をしやすくするためにはどうすればよいと思いますか。(複数回答可) ※今回新たに加えた項目。小学3年生以上が回答

	平成24年度			
	小学校	中学校	高等学校	特別支援
気づいて声をかけてほしい	37.0%	47.3%	49.8%	53.4%
相談できる部屋がほしい	33.9%	32.5%	24.2%	24.5%
相談できる係の先生がいるといい	27.3%	23.8%	18.1%	23.4%
話す勇気があるとよい	50.5%	49.0%	49.1%	23.2%
その他	2.4%	3.8%	3.6%	4.7%

(12) 自由に使える携帯電話等やパソコン(インターネットへの接続ができるもの)を持っていますか。 ※特別支援学校は、5年生以上回答。

	平成24年度				平成23年度				平成22年度			
	小学校	中学校	高等学校	特別支援	小学校	中学校	高等学校	特別支援	小学校	中学校	高等学校	特別支援
ア 携帯電話等とパソコンの両方持っている	9.7%	25.7%		20.7%	7.9%	22.4%			7.4%	20.7%		
イ 携帯電話等だけ持っている	16.0%	16.6%	別紙	17.7%	11.2%	11.6%	別紙	別紙	8.9%	11.6%		
ウ パソコンだけ持っている	18.2%	34.4%		11.0%	21.1%	42.4%			22.1%	42.9%		
エ 両方持っていない	56.1%	23.3%		50.6%	59.8%	23.6%			61.7%	24.7%		

(13) 家庭で、携帯電話等に関するきまりごと(ルール)がありますか。 ※今回新たに加えた項目。小学校5年以上で携帯電話等を所持している人が回答

	校種	平成24年度	
		児童生徒数	割合
ある	小学校	3,284	58.2%
	中学校	6,762	53.1%
	高等学校	11,452	35.7%
	特別支援	299	53.6%
	合計	21,797	42.8%
ない	小学校	2,356	41.8%
	中学校	5,962	46.9%
	高等学校	20,604	64.3%
	特別支援	259	46.1%
	合計	29,181	57.2%

(14) そのきまりごと(ルール)は、どのようなものですか。(複数回答可) ※今回新たに加えた項目。問14で「ある」と回答した人が回答

	平成24年度			
	小学校	中学校	高等学校	特別支援
ア 1か月の使用料金の上限を決めている	10.1%	20.9%	33.1%	11.6%
イ 使用する時間数や時間帯を決めている	33.2%	30.1%	13.0%	39.5%
ウ フィルターをかけ、有害なサイトに接続できないようにしている	55.0%	59.8%	68.7%	43.2%
エ メール機能のみ使用するなど使用できる機能を制限している	31.4%	24.0%	7.0%	16.6%
オ 自分の部屋に持ち込んで使用しないように決めている	10.2%	7.1%	4.4%	8.0%
カ その他	21.1%	10.4%	8.2%	8.7%

(15) 今の学年になってインターネット上への掲示板等(学校がつくっているホームページとは別のサイトなど)に書き込みをしたことがありますか。 ※今回新たに加えた項目。小学校5年以上が回答

	平成24年度			
	小学校	中学校	高等学校	特別支援
ア よくある	1.1%	2.6%	1.5%	0.9%
イ 何回か書いたことがある	2.0%	3.5%	2.9%	1.7%
ウ 書いたことがない	96.9%	93.8%	95.5%	97.4%

(16) このようなアンケートに答えるとき、書きやすいのはどちらですか。 ※今回新たに加えた項目。小学校3年生以上が回答

	校種	平成24年度	
		児童生徒数	割合
学校	小学校	22,940	58.6%
	中学校	20,018	66.5%
	高等学校	22,393	66.8%
	特別支援		
	合計	65,351	
自宅	小学校	16,237	41.4%
	中学校	10,067	33.5%
	高等学校	11,105	33.2%
	特別支援		
	合計	37,409	